

第2期愛媛県スポーツ推進計画【概要版】

計画の趣旨

第1期計画の目標である「スポーツ立県えひめ」の実現は継承しつつ、国の第3期スポーツ基本計画を参酌のうえ、新型コロナの影響や東京オリ・パラ大会の開催などによるスポーツを取り巻く環境変化、現計画に基づき取り組んできた各種施策の成果等に留意し、本計画を策定

計画の役割

スポーツに関する施策を総合的かつ計画的に推進するための基本事項その他の必要事項について定め、「スポーツ立県えひめ」の実現に向けて取り組んでいくための指針

計画期間

令和5年度から令和9年度(5年間)

目標

「スポーツ立県えひめ」の実現

【基本方針1】

多様な主体に沿ったスポーツ機会の創出

性別、年齢、障がいの有無等に関わらず、県民誰もがスポーツに親しめる環境整備に取り組みます。

施策の展開

(1) スポーツ習慣の定着・促進

スポーツ実施率の低い層・無関心層へのスポーツ実施に向けた環境整備や機運の醸成に取り組むほか、「愛媛スポーツ・レクリエーション祭」の開催等により県民が運動やスポーツに親しめる環境整備等に取り組めます。

(2) 子どもの運動習慣の定着と体力向上

幼児にとつての運動や外遊びの意義・重要性の啓発等を行うほか、自分に合ったスポーツを見つけ出す機会の提供によりスポーツへの意欲向上や習慣化等に取り組めます。

(3) 学校体育活動の充実

学校における体育の授業の質の向上、体育の授業以外の時間を活用した運動の「場」の提供、地域のスポーツ団体等と連携した取組みの推進、家庭における運動習慣の意識付け等に取り組めます。

(4) 障がい者スポーツの推進

身近な地域でスポーツが楽しめる環境整備を行うほか、本県独自の魅力ある障がい者スポーツ競技の創出によるスポーツ機会の増加やパラアスリートの競技力向上等に取り組めます。

(5) eスポーツを活用した共生社会の実現

障がい者と健常者の区分のないeスポーツ大会の開催等を通じ、交流を深める機会を提供するほか、ねりんピック愛媛のえひめ2023でオリジナルイベントを開催します。



愛媛スポーツ・レクリエーション祭

【基本方針2】

スポーツ実施環境の整備・充実

県民誰もがスポーツに参画できる「場づくり」等の整備・充実に取り組めます。

施策の展開

(1) 総合型地域スポーツクラブの育成支援

各市町及び関係団体と連携しながら、「えひめ広域スポーツセンター」の活動等を支援するほか、クラブが継続的・安定的に運営できるよう「登録・認証制度」の登録支援等に取り組めます。

(2) スポーツ施設等の整備と有効活用の促進

県民が安心してスポーツ活動に参画できるよう、施設等の安全性や機能維持など、施設整備に取り組むとともに、全国的な大会やスポーツ合宿を誘致するなど、スポーツ施設の有効活用等に取り組めます。

(3) 運動部活動の地域移行に向けた準備

各市町の課題や改革案、好事例等を情報共有・協議する機会を設けるほか、スポーツ団体等と協力し、指導者の発掘・把握に努め、地域クラブ活動の運営団体・実施主体の指導者配置等に取り組めます。

(4) スポーツを「支える」人材の育成・確保

スポーツイベント開催時にはボランティア参加への積極的な情報発信を行うほか、スポーツ推進委員の資質向上と活動の活性化を図るため、各種研修会の開催等に取り組めます。

(5) DXによるスポーツの振興

デジタル機器を活用し、競技特性に応じた効果的なトレーニング方法の提案を行うほか、ベースボール・ラボの常設化による野球競技力向上、自分に合ったスポーツを見つけ出す機会の提供によるスポーツへの意欲向上、習慣化等に取り組めます。



ベースボール・ラボ

【基本方針3】

ジュニアから成年世代までの切れ目のない競技力向上対策の推進

全国や世界で活躍するアスリートの発掘・育成・強化に取り組めます。

施策の展開

(1) 競技水準の維持・向上

ジュニアから成年世代まで幅広い層を、一体的かつ継続的に育成・強化するほか、県内外の優れた競技力を有する選手の受入れ促進やトップアスリートに対する活動支援を行うなど、競技力向上に取り組めます。

(2) 指導者の養成・資質向上

高度で専門能力を有する人材の養成・資質向上に取り組むとともに、中核指導者に対し、最新の指導技術を習得する機会を設けるほか、児童・生徒へ適切に指導できる部活動指導者の確保等に取り組めます。

(3) ジュニアアスリートの発掘・育成・強化

ジュニア世代の有望な選手を発掘し、オリンピック等で活躍する選手を輩出するほか、地域の競技活動の指導者であるジュニアクラブチームの支援、優秀な指導者から指導が受けられる体制の確保等に取り組めます。

(4) スポーツ医・科学の活用

「愛媛県スポーツ医科学センター」において、スポーツ医・科学に関する相談や専門家の派遣を行うとともに、競技別アスリートの身体機能等のデータを蓄積し、有効なトレーニング方法等の情報提供に取り組めます。

(5) スポーツ顕彰制度の充実

世界規模や全国規模のスポーツ大会で顕著な成績を収めた選手・団体を表彰するとともに、全県規模で開催されるスポーツ大会に知事賞等を交付します。



いちご一会とちぎ国体ボート競技の入賞者

【基本方針4】

地域特性を活かした交流促進と地域活性化

本県のスポーツ資源を活用し、スポーツを核としたまちづくりに取り組めます。

施策の展開

(1) スポーツ大会・合宿誘致等による交流人口の拡大

国際大会や全国大会、国内外のトップアスリートの合宿等を戦略的に誘致・開催するほか、多様な規模・レベルのスポーツ大会開催や合宿実施の支援、日本スポーツマスターズの再誘致等に取り組めます。

(2) 海外とのスポーツ交流の推進

ジュニア世代の交流を中心に、東京オリ・パラ大会のホストタウン相手国・地域等とのスポーツ交流を積極的に推進するほか、オンラインを活用した友好関係の強化等に取り組めます。

(3) スポーツイベントのレガシーの活用

「愛・野球博」事業のレガシーを継承し、野球を切り口としたスポーツ・観光の各方面の交流を促進するとともに、ねりんピック愛媛のえひめ2023を開催することでふれあいと活力のある長寿社会の形成に寄与します。

(4) 地域密着型プロスポーツ球団との連携

愛媛県プロスポーツ地域振興協議会を通じて、各プロスポーツ球団に対する応援機運を盛り上げるほか、若年層のファン獲得や交流機会の創出など、球団の認知度や地域との密着度の向上等に取り組めます。



マレーシアバドミントンチームキャンプ

第2期愛媛県スポーツ推進計画 数値目標

項目			実績 (R4年度)	数値目標 (R9年度)
1 多様な主体に沿ったスポーツ機会の創出				
運動・ スポーツの実施頻度	週1日以上スポーツを行う県民の割合	成人	56.3%	70.0%
		小中高生	80.3%	90.0%
	1年に1度以上スポーツを実施する割合	成人	87.7%	100.0%
		週3日以上スポーツを行う県民の割合	小中高生	56.5%
日常生活における歩数	20～64歳	男性	7,170歩/日	8,500歩/日(R5年度)
		女性	6,192歩/日	8,500歩/日(R5年度)
	65歳以上	男性	5,170歩/日	7,000歩/日(R5年度)
		女性	4,583歩/日	6,500歩/日(R5年度)
愛媛スポーツ・レクリエーション祭の参加者数			6,673人	8,000人
県障がい者スポーツ大会の参加者数			346人	2,000人
障がい者スポーツ指導員数			259人	410人
パラリンピック・デフリンピック出場者数			6人	6人
eスポーツを経験したことのある障がい者の割合			4.4%	10.0%
2 スポーツ実施環境の整備・充実				
総合型地域スポーツクラブ数			28クラブ	33クラブ
総合型地域スポーツクラブの登録・認証クラブ数			19クラブ	24クラブ
総合型地域スポーツクラブの会員数			3,477人	4,300人
県立スポーツ施設利用者数			64万人	90万人
公立中学校における休日の運動部活動の地域移行等の県内20市町の実施割合			—	100%(R8年度)
アスリートチェック年間測定人数			162人	250人
全国高等学校野球選手権大会（夏）の勝率			6割3分5厘	6割3分7厘
3 ジュニアから成年世代までの切れ目のない競技力向上対策の推進				
オリンピック出場者数			4人	5人
オリンピックメダリスト数			1人	3人
国体総合成績			23位	10位台
競技人口（県スポ協登録）※小・中・高生・成年			67,493人	65,000人
日本スポーツ協会公認スポーツ指導者登録数			3,291人	3,500人
国体少年種別総合成績			17位	10位台
「愛顔のジュニアアスリート」及び修了生国際大会出場者数			13人	5人
アスリートチェック年間測定人数（再掲）			162人	250人
スポーツ医・科学指導者派遣等事業の参加人数			4,204人	5,000人
4 地域特性を活かした交流促進と地域活性化				
大規模スポーツ大会の県内開催件数			年10件	年10件
うち、国際大会の誘致件数			年1件	年3件
トップアスリート合宿の県内実施件数			年4件	年5件
日本スポーツマスターズの参加者数			—	8,000人(R7年度)
スポーツ交流を実施する国・地域数			5か国	6か国
全国規模の野球大会や合宿等の誘致件数			2件	3件
ねんりんピック愛顔のえひめ2023参加予定人員（観客含む）			—	延べ約50万人(R5年度)
4球団ホームゲームの1球団当たり平均観客数			1,700人	2,400人